

## R4. 11. 4 光高等学校 発言要旨

### 【提案・意見交換】

学生

●光市の人口減少が見込まれる中、光市の税収や財政状況を教えてください。

市長

・光市が市民のために執行する一般会計の規模は、大体 230 億から 250 億円である。このうち、税収が 80 億円を下回り、不足分は、国県からの交付税や支出金などで賄われるなど、厳しい財政状況にある。

・こうした中でも、光市は財政調整基金という「貯金」を毎年、積み立てており、いざ災害が発生しても対応できるように一定程度備えている。

・財政状況を踏まえ、行政の無駄を省き、心から幸せを実感することができるまちをつくるため、必要な政策を講じていく。

学生

●市長さんと学生の対話機会がもっとあれば良いと思いました。

市長

・これまでも中高生の皆さんと定期的に対話を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症があり、最近はこうした対話ができず、本当に残念であった。

・若い人の意見を聞き、施策に反映させることは非常に大切なことであるため、これからも対話の取組を続けていきたい。

学生

●先日、室積海岸で行われた市による空き家の解体について、教えてください。

市長

・所有者が分からず、景観の悪化を招いていた空き家が崩れそうになっていたため、行政代執行という手続きに則り、光市が空き家を解体した。

・自分の土地は自分で管理することが大原則ではあるが、光市には多くの空き家がある。危険な空き家をどうするかは、本当に大きな問題であり、必要に応じて、適切な措置をとっていかなければならない。

学生

●光駅のバリアフリー化について教えてください。

市長

・市民の皆さんから「階段を上るのが辛い」との要望が多数寄せられているため、ホームへのエレベーターを付けて、南北に自由通路を設けるといった案をJR西日本と協議している。

・JRとの協議を重ねながら、早期に工事を着手したい。

学生

●「市民」という言葉は、「光市に住む人」という意味なのか、それとも「市と関わる人・市に滞在する人」という意味なのか教えてください。また、地域の人たちとの協働については、市外在住の人たちの協力を求められているのでしょうか。

市長

・市外から光高等学校に多くの生徒さんが通われていることは、光市にとってチャンスである。市外に住む人たちの目で光市を見て、関わってもらうことは、まちづくりに非常に重要である。ぜひ、皆さんには地域の行事、例えば市の祭りなどに参加してほしい。

学生

●街路灯が少なく、夜の帰宅時に危険を感じる。どうすれば、街路灯を増やしていただけますか。

市長

・光市には、街灯として、LEDの防犯灯が5千基あり、少しずつ増やしている。  
・防犯灯の設置については、先ずは自治会で話し合っていたいただいた上で、自治会から要望をいただくようにしている。

学生

●市の東部（塩田・東荷）では、人口が減り、空き家が多いと耳にしますが、何か考えはありますか。

市長

・岩田駅前ではコミュニティセンターの建設や、道路の拡張などが進んでいる。  
・一方で、塩田や東荷の人口は減ってきているが、東荷に関しては、里の厨や伊藤公資料館があり、訪れる人は多い。また、塩田は、個性的な飲食店ができるなど、少しずつ特色ができています。  
・引き続き、各地域の特色を大切にしながらまちづくりを進めていきたい。